

主体的・対話的に学ぶ～1年生のがんばり

12月17日(火)には指導主事訪問があり、1年生の国語の時間の授業を見せていただきました。今回は、「ことばっておもしろいな」という単元の中で、「言葉には、ものの名前を表すはたらきがある」という、大人にとっては当たり前だけれども、1年生の子どもたちにとっては「へえ、そうなんだ。」という新鮮な驚きを感じる学習でした。「りんご」「みかん」「バナナ」「あじ」「さんま」などの『一つ一つの名前』＝「下位語」と、「くだもの」「さかな」などの『(同じ種類の物に)まとめてつけた名前』＝「上位語」など、それぞれの言葉の関係について学習しました。

みんなの考えを伝え合う際には、自分の考えを発表した後、「似ている考えの人はいますか?」「ちがう考えの人はいますか?」と問いかけながら、次の発言者についでいく場面がありました。互いの考えを関連付けながら学び合う姿に、小学校入学以来9ヶ月の確かな成長を感じるとともに、「1年生でも、ここまでできるんだなあ。」といううれしい驚きも感じました。

1年生の子どもたちは、今、自分が何屋さんになるのかを決めて、「お店屋さん＝売り物は品物の『言葉と絵をかいた短冊』」の準備を始めています。お店屋さんとお客さんの役割を交代しながら、買いたい物がお店屋さんへ伝わるように、声の速さや大きさを工夫しながら一つ一つの名前を伝えたり、お客さんが知らせたいことを落とさないように集中して聞いたりする活動に取り組みます。このように、生活の場面と結び付けながら「言葉のおもしろさ」への関心を高め、知っている言葉・使える言葉(語彙)を増やしていきたいと考えています。小学校に入学してから初めての研究授業でした。4人の1年生のみんな、とってもよくがんばりました。大きな「はなまる」です!



校内での生活を見直そう!!～代表委員会からの提案

12月17日(火)に「児童会だより11号」が発行されました。その中では、①中川っ子にふさわしい態度(話の聴き方、正しい言葉づかい)②体育館のボールの後片付け(上の学年の責任感)③ろうかの歩き方(集団生活のルール)について、呼びかけられています。

①については、角館小学校との交流活動や授業見学を通して感じた人も多かったです。また、②③については、これまでも課題としてあげられていました。令和2年3月までの約3ヶ月間、これらの3つの態度は、「中川小学校のまとめの活動」として、みんなで声をかけ合って身に付けていきたいことですが、ここで大切になってくるのは、「意識する」ということです。なんとなくやるのではなく、「なぜ、そうするのか?」という問題意識をもって取り組むことです。みんなで創る「中川小学校最後の3ヶ月」が、「最高だったね」「みんなの気持ちが一つになったね」と喜び合うことができるように働きかけていきたいと思います。

中川小学校
児童会だより
NO. 11 令和元年 12月17日
審判人

①体育館のボールのあと片づけについて
→1番上の学年の人が責任をもって片づける
同じ学年の人と遊んでいるときも進んで片づけよう

②ろう下を走る人が目立ッ
→ろう下を歩こうダルマをつくりました。

③なぜダルマにしたのかという...
・安全でけがのおそれがない。
・管理が楽である
・顔を変えることができて楽しみやすい

このダルマを体育館前ろうかに置くので
くずさないように向きましょう。

校内での生活を見直そう!!
今年も残すところあと半月です。
『最高の一年』に向けて、楽しく学校生活をおくることができていますか?
中川、子30人、全員笑顔がもと
ふえるために、代表委員会で学校生活について相談したことをお知らせします。

① 中川、子にふさわしい態度について
最近、集会中の私語(しゃべり)や言葉づかいの乱れが気になるという声がありました。
解決方法として
→集会中、話しかけられなくても、あとでねごとこねる。
→授業中、正しい言葉づかいで参加する。

全校音楽 ミニコンサート開催

一昨日は、今年の音楽的な活動の成果を発表し合う「ミニコンサート」を行いました。1年生から6年生まで様々な演奏形態で、そして、歌や合奏をはじめ、ボール遊びや迫力満点の「ハカ」など、バラエティーに富んだコンサートになりました。

はじめに、進行役を務める4人の6年生が、ユーモアたっぷりの自己紹介で雰囲気盛り上げ、ミニコンサートが始まりました。初参加となる1年生は、全員で「きらきらぼし」の発表をしました。歌、鍵盤ハーモニカ（2人で交代して）、鉄琴の3つのパートに分かれて堂々と演奏していました。2曲目は、1年生なのになんと「ABC」の英語の歌に挑戦しました。そして、2人ずつ組になって「あながたどこさ」と「ドラえもん宝島」のかわいらしい演奏を披露してくれました。

その後も、ピアノ演奏、2人組・5人組の歌や合奏、学年全員による合奏など、どれも聴き応えのある演奏でした。途中で6年担任Y先生の飛び入り参加によるギターの弾き語り、4・5年男子の有志による「ハカ」の演技、最後は全員での「思いやりの歌」など、会場の音楽室は大いに盛り上がりました。また、6年生は、一つ一つの発表に温かいコメントを送りながらコンサートを進めてくれました。これらのことにより、発表できた充実感だけでなく、「よい聴き手が、よい演奏を引き出す」という「じっくりと聴くことのよさ」を改めて感じる機会になりました。

そして、ミニコンサートが終わると、子どもたちは、すぐにメッセージカードを手に取り、友達へのメッセージを書いていました。今後も、「中川小学校のまとめ」に向かい、自分の思いを表現する場や互いのよさを認め合い高め合う場を、よりいっそう大事にしていきたいと思えます。

お忙しい中ご参観くださったみな様、どうもありがとうございました。



笑顔で会場を盛り上げる6年生 堂々と発表する初参加の1年生 3人の息がぴったり3年生 5種類の楽器の音色を響かせる4年生



飛び入り参加のY先生と6年生 本場も顔負け、迫力満点の「ハカ」 軽快なリズムで曲を奏でる5年生 4人の音色のバランス絶妙な6年生



令和元年度 人権標語コンテスト



標記のコンクールで、秋田地方法務局大曲協議会長賞に輝いたT.Sさん（6年）が、一昨日、校長室において表彰状をいただきました。入選した標語を紹介します。

ほくたちも 命の重さ みんな同じ

中川っ子みんなで、命の重さ・大切さについて考え明るく楽しい学校づくりを進めていきましょう！